

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	丸田 和時	40分	<p>1 農産物加工場設置と販売ルート確保について</p> <p>2 ツーリズム社会の整備と充実について</p> <p>3 平出水川河川改修について</p>	<p>T P P参加が懸念されるなか、地域農業の維持には、農産物加工場の設置、販売の拡大が必要だと思う。農商工等連携事業や6次産業化法の活用により、地域農産品の加工、販売を目指すべきだ。雇用促進や活性化にもつながると思うが、市長の考えを伺いたい。</p> <p>伊佐地区ツーリズム協議会は、発足1年で修学旅行や民宿事業を行い、一応の成果はあった。来年度は300人程度（4、5校）の修学旅行生の受入を予定している。また、民宿部会も発足し、今後の活動も期待できるが、まだまだ会員の拡大や研修、充実が必要で、多くの課題もある。どこの地区も、行政が深く関わり、そのまちの特性を生かしている。地域の活性化や産業育成のための行政の予算化を望む。</p> <p>平出水川は、平成18年の北薩豪雨災害以来、3回の堤防越水をし、そのたびに、県道、水田は川のように流れ、河川、水田、畦畔は多くの被害を受けている。県、市に要望しているが、早急な対策を求める。また、河川の移設をした為、多くの堆積土があり、川が浅くなっているため、浚渫を望む。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	<p>担当課長</p>

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち2枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	鶴田 公紀	30分	1 市長の政治姿勢について	(1) 平成24年度当初予算編成に伴う事業の基本構想で、各課への指示事項等について (2) 曾木の滝整備計画について	市長	
			2 職員数について	(1) 全体の職員数と3月末の退職者数及び新規採用者数について (2) 代休の取得状況について	市長	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち3枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	森山 善友	20分	1 山野西校区の今後の活性化について	(1) 自治会の合併等は、考えていないか。 (2) 今後のコミュニティ活動は、山野校区となるが、不安に思われることはないか。 (3) 施設の今後の管理運営について (4) 教員住宅、一般市営住宅の今後について (5) 校区行事等の今後について	市長	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち4枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	中村 周二	20分	1 野生鳥獣（ジビエ）について	<p>(1) 長野県に研修に行き、県がやるべきこと、市町村がやるべきこと、市民がやるべきこと、きちんと区別されている。県がやるべきことを、伊佐市から提案していくことはできないか。</p> <p>(2) 始良・伊佐の市長、町長会などで、野生鳥獣の話し合いはできないか。また、今までになかったか。</p>	市長	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち5枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	前田 和文	30分	1 市長 Manifesto の取組状況及び達成実績について具体的に示せ。	(1) 地域医療の充実に向けた施策はどのように推進してきたか。 (2) 高齢者が安心して暮らせるまちづくりへの取り組みは、十分成果を出せたのか。 (3) 子育て支援政策の達成実績は、具体的評価がなされたのか。 (4) 農畜産業・林業振興対策は、達成評価できるものとなっているか。 (5) 「異業種連携による経済活動を展開する」と公約しているが、具体的成果があったのか。 (6) 行財政改革の成果と、伊佐市における今後の見通しと課題を示せ。 (7) 「環境保全、経済活動の推進と文化の連携をはかり、バランスのとれたまちづくりをめざす」とあるが、具体的成果を示せ。 (8) 消防団の組織・報酬等再編への取組状況及び今後の計画について示せ。	市長	担当課長

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち6枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	鶴木 誠	30分	1 自治会の連携と活性化について	<p>合併により、菱刈地区は校区公民館活動推進協議会から大口地区が進めていたコミュニティ協議会に移行し、伊佐市全体のコミュニティ活動が動き出した。</p> <p>特に各コミュニティ会長ほか役員の熱心な姿に敬意を表したい。</p> <p>一方、コミュニティの下部組織である自治会は、人口減、少子高齢化の影響で活動の維持が厳しくなる組織が増えてくる。自治会を後継する若者を取り組むために、行政として、今、積極的に進めることはないのか、座して状況を見守るのか。</p> <p>今回はスポーツを通じた活性化の取り組みと、行政の仕掛けについて伺いたい。</p> <p>(1) 現状をどう見ているか。</p> <p>(2) 各コミュニティのなかで、自治会対抗の競技が実施されているが、市で行うものは、コミュニティ単位対抗の市民体育祭とふれあい駅伝だけである。自治会対抗の必要性は。</p> <p>(3) スポーツによる連帯感、活動の継続による絆、自治会への関心、ニューリーダーの発見、アイデアなど、自治会対抗によるスポーツ活動は意義ある行事ではないか。</p> <p>(4) 文化スポーツ課の事業内容で伊佐市の将来が描けるのか。</p>	市長 教育長	
			2 県道菱刈横川線の改良計画の進捗状況について	<p>新曾木大橋が完成し、内外から観光的価値が賞賛されている。そのアクセスのひとつとして、また、伊佐市の主要幹線として以前から取り上げられている。県道菱刈・横川線改良について、県及び関係市町との取り組み状況を伺う。</p>	市長	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち7枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	福本 千枝子	40分	1 新曾木大橋開通で活性化を	<p>11月5日の新曾木大橋の開通式には、国会議員、県知事、池畑県議会副議長ほか関係各位の皆様をお迎えし、また地元を含めた多くの見学者のなか、開催された。知事のあいさつで、人と物との交流、観光のスポット、地域のシンボルは、宝であり、観光ルートも考えるべきだと話され、力強く感じた。人口減少を続ける本市にとって、交流人口（集客）を増やすことも活性化につながると考える。今後の曾木の滝を含めた観光計画について伺いたい。</p> <p>(1) 新曾木大橋のPR (2) 旅行社との連携 (3) 旧曾木大橋の今後 (4) 県道鶴田大口線の未買収の進捗状況 (5) 今年のもみじ祭りの集客</p>	市長	
			2 特定健診について	<p>特定健診の受診率向上のため、努力され効果が出ているが、平成24年度に向けての課題をどう捉えているか。</p> <p>病気にならないために、健診と日頃の運動習慣が必要であると考えている。健診で運動が必要とされた方々への特定運動指導の効果はどうか。この運動指導は、一定期間で終了するのか、要望すれば継続可能なのか。</p>	市長	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち8枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	柿木原 榮一	40分	<p>1 郷土の伝統(文化財、地域の歴史や文化)を次世代にどのように継承されるのか。</p> <p>2 伊佐市の再生可能エネルギー(特に小水力発電)計画について</p>	<p>(1) 第1次伊佐市総合振興計画で政策(5)施策No.26の「歴史・伝統文化の継承と活用」の2011年～2020年で目標設定の考え方、目標達成に向けた基本的な取り組みを示されているが、具体的に説明せよ。</p> <p>(2) 成果指標の「A 郷土の伝統文化(文化財)を知っている市民の割合」「B 郷土の伝統文化財を見たり、保存に関わったりした市民の割合」「C 適正に保存されている文化財の件数」の平成27年度目標値は本当に達成可能か。</p> <p>(3) 目標達成に向けた基本的な取り組みで、市民や地域と連携するとあるが、現在でも地域には歴史的な場所がある。高齢化する中、手入れが行き届かず荒れつつあるが、どのような方法が考えられるか。</p> <p>(4) 合併して3年になるが、伊佐市の歴史を検証するために、学芸員の設置は考えないか。</p> <p>(5) 伊佐市の職員のなかに、専門的に基本的な歴史を学んだ職員がいるが、長期的に腰を据え、学芸員として、古文書等を解析し、市民に伝え、しっかりした振興を図るべきと思うが、どう考えているか。</p>	<p>市長 教育長</p>	
				<p>(1) 曾木の滝公園内の河川を利用して、小水力発電所の建設協定が結ばれたが、伊佐市には、水系がたくさんあるが、他に計画できる場所はないか。</p> <p>(2) 原発の可否を考えている時世であるが、小水力発電等の設置に、有利な地域自立・地域活性化等の交付金・補助金の事業はないのか。</p> <p>(3) 小水力発電で得られた電力で、新曾木大橋の欄干等にLED灯を設置し、大橋を照らすことはできないか。</p>	<p>市長</p>	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち9枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	緒方 重則	20分	1 地域経済の活性化策	<p>地域経済を盛り上げていく取り組みとしていろいろ上げられるが、</p> <p>(1) 地域振興（地域おこし）</p> <p>(2) 観光資源の活用</p> <p>(3) 農林水産業・商店街・地域間及び企業間の連携</p> <p>などについて、考えを伺いたい。</p>	市長	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち10枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	岩元 克頼	30分	1 熱中症対策について 2 市長ほか特別職の退職手当について	<p>体育の授業やスポーツイベント等における「熱中症暑さ指数計」や教室で用いる「携帯型熱中症計」の活用がなされている。この点に対する市の取り組みを答弁されたい。 また、今夏における熱中症患者の実情はどうだったか。学校の統計があれば、あわせて示されたい。</p> <p>退職手当は、退職手当組合の定める条例によるとなっているようだが、実状はどうなっているか。 地方公共団体の特別職の退職手当は、著しく高いと感じているが、どう考えるか、答弁されたい。</p>	<p>市長 教育委員長</p> <p>市長</p>	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち11枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	諏訪 信一	15分	1 高齢者対策について	<p>2010年度国勢調査の結果が報告された。伊佐市の人口29,304人、男13,392人、女15,912人、世帯数12,798世帯。2005年度調査と比較すると、2,195人の減少、さらに高齢化率35.9%と、19市のなかで一番高くなっている。</p> <p>(1) 高齢化の高い自治会はどのくらいあるのか。また、高い順(1～5くらいまで)に伺いたい。</p> <p>(2) そのなかで、独居老人世帯や支援、援助を必要としている人はいるか。</p> <p>(3) 職員も減らされているなか、このような地域に、担当職員を配置し、手助けはできないか。対策があれば伺いたい。(民生委員との連携も含めて)</p> <p>(4) この一年間の生活保護受給申請者数はどのくらいか。また、受給申請理由の内訳と認定された件数は、どのくらいか。</p> <p>(5) 生活に困っている方々の相談窓口の利用状況も併せて伺いたい。</p>	市長	
			2 一年間を振り返って	<p>3月は東日本大震災、原子力発電所事故、6～8月には、伊佐市で豪雨と災害が続いた。市長は、子育てにやさしいまちづくり、高齢者が安心して住めるまちづくりと言われるが、この一年間を振り返り、成果と反省点をお伺いしたい。</p>	市長	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち12枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	畑中 香子	40分	1 介護保険について	(1) 第5期介護保険事業で示される介護予防、日常生活支援総合事業を、どのようにすすめていく考えか。 (2) 事業を行う地域支援事業は、介護給付費の3%だが、その枠内でのサービス提供が可能か。 (3) 保険料の軽減は考えられないか。	市長	
			2 中学校再編について	(1) 学校がなくなることで、「地域がますます寂れてしまう」との声があるが、このことについて市長の見解を伺う。 (2) 統廃合予定とされている中学校のなかには、学力の低下、不登校、保健室登校など、問題を抱えている学校があると聞くが、このような問題を解決できないまま、統廃合をすすめることができるのか。 (3) 再編計画をやり直すべきではないか。	市長 教育長	
			3 子ども医療費助成について	(1) 子ども医療費助成の状況は、他の自治体と比較してどうか。 (2) 助成を拡大するべきではないか。	市長	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち13枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	沖田 義一	20分	1 児童生徒や市民の体育、体力、競技等について	<p>(1) 児童生徒の体力、体格をどのように評価しているか。</p> <p>(2) 児童生徒の競技については、どのように評価しているか。</p> <p>(3) 児童の減少に伴い、小規模校が増え、課外活動（主にスポーツ）ができないまま中学生になったとき、課外活動のスポーツを選択しにくい環境になりつつあると危惧している。高校生、社会人がスポーツ等を敬遠する傾向が見えるが、どう考えるか。</p> <p>(4) 伊佐市の競技（競技力）の向上についての考えを伺いたい。</p>	市長 教育長	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち14枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	古城 恵人	40分	<p>1 伊佐市文化財三州谷の大ケヤキについて</p> <p>2 曾木大橋を周回用歩道橋として残せないか</p>	<p>この8月倒伏し、林野庁が岐阜県の銘木市場で売却処分された三州谷の大ケヤキは、樹齢1000年を超える貴重なもので、国有林内にあるとはいえ、旧大口市時代から文化財として、大切に管理されてきた。落雷に遭ってから、幹の半分が枯れかかり、市では苦しい財政のなかから、樹勢回復に、樹木医を頼み、相当の予算をつぎ込んできた経緯がある。</p> <p>(1) 報道によると1,750万円で落札されたということだが、市は情報を把握しているか。知る限りの情報を示せ。</p> <p>(2) 倒伏後、これまで伊佐市では、林野庁、森林管理局、森林管理事務所に対して、どのような対応をされてきたのか具体的に示せ。</p> <p>(3) 市は大ケヤキを文化財の証として、枝の一部を譲り受けたと聞くが、どのような評価をしているのか。また、その展示について、どのような考えか示せ。</p> <p>(4) 市長は、このことに関し、市議会議長に相談、報告などはなかったようだ。林野庁に対して、行政、議会と一体となって文化財を守り、継承、保存する考えはないのか。</p> <p>(5) 今後、林野庁と、何らかの形で保存する計画は考えないか。</p> <p>待望の新曾木大橋が完成したが、県道404号大口鶴田線の未整備区間があることから、当分は取り壊し撤去が猶予されると聞く。市民のなかからは、交流人口を増やし、滞在時間を延ばすためのアイデアを絞って、団体バスの立ち寄りルートづくりや、市民のあらゆる力を結集し、公園のグレードアップを図れとの声がある。</p> <p>(1) 今回のもみじ祭りも臨時駐車場からピストン移送された。公園に隣接の土地は空いている。生駒高原のような駐車場確保について対策や検討は考えていないのか。</p>	市長 教育長	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち15枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			3 十曾公園の素材を活かすビジョンはないのか	<p>(2) 曾木大橋が自然景観を損なうということで、新曾木大橋の建設陳情となったわけだが、一方滝の真上からの景観もまたすばらしく、残すべきとの声もある。この橋に、車を入れない周回用の遊歩道として残す取り組みは考えないか。</p> <p>(3) 四季折々の景観を楽しむ周回散策のルートづくりといえ、もみじやかえでなどの紅葉樹や、桜、アジサイなどの植栽である。予算がないなりにアイデアやボランティアを募り、リピート客を増やす工夫を考えないか。</p> <p>十曾青少年旅行村は、かつて 3000 人を超える子どもから中・高生の若者で活気にあふれていた。楠本川溪流自然公園は年間 2200 人から 2600 人の利用客が訪れている。比較すると、十曾青少年旅行村は、下降線をたどり、今では忘れかけた公園となりさびしい限りである。</p> <p>隣接の民間ブルーベリー園は、園主が 20 年間こつこつと整備され、人気スポットに仕立て上げられた。市はもっと十曾公園のバックグラウンドや素材を活かすビジョンづくりに取り組まないのか。</p> <p>(1) 青少年旅行村のコテージは相当の予算をつぎ込んだにもかかわらず、利用状況は芳しくない。管理等、シャワー室、キャンプ用具等も老朽化している。どう対処する考えか。</p> <p>(2) 市内小中学校の宿泊学習地は、学校が南薩、川内、霧島などの施設を選択していると聞く。市として海山交流の宿泊学習地として、十曾にきてもらう企画や構想はないか。</p> <p>(3) 先の9月定例会で子どもの森事業 1,800 万円も決定した。十曾に設置される構想と聞くが、位置はどこを考えているのか。青少年旅行村との関連はどうなるのか示せ。</p>		

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち16枚目)

順位	発 言 者	発 言 時 間	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
15	植松 尚志郎	20分	1 人口減対策について	<p>伊佐市定住促進空き家活用事業補助金については、Uターン者で、20年以上伊佐市外に居住していた方に対する助成であるが、これを10年にすると、子どもが小さいうちで、故郷に帰りやすいのではないかと考える。</p> <p>子どもが大きくなると、なかなか帰郷できないのが実状である。また夫婦だけが伊佐市に定住し、子どもは一緒ではない例があるが、子どもと一緒に定住することが、伊佐市にとってメリットも大きいと考えるが、市長の考えを伺う。</p>	市長	

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち17枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
16	左近充諭	20分	1 菱刈湯之尾の整備について	(1) 湯之尾の旧河川の公園化は、どのようになっているか。 (2) 湯之元橋の整備は。	市長	担当課長

平成23年第4回定例会一般質問

平成23年12月13日・14日・15日

(18枚のうち18枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
17	久保 教仁	25分	1 地域ブランドへの取り組みについて	<p>(1) 伊佐市の観光戦略について</p> <p>ア、新曾木大橋が完成した。これまでの伊佐市の観光事業を総括し、今後は観光イベントにおける集客数や交流人口増加への対応策は。</p> <p>イ、伊佐市の宿泊施設と宿泊できる員数は。</p> <p>ウ、4棟の体験住宅は機能しているか。</p> <p>エ、高校・大学等の合宿を誘致する補助金は考えられないか。</p> <p>(2) 伊佐ブランドと農業政策について</p> <p>ア、伊佐米ブランド認証の統一基準の確定はどうなっているか。</p> <p>イ、重点作物の振興計画はどうなっているか。</p> <p>ウ、園芸の分野で、元気な高齢者を育てることを目的とした、直売所手数料の一部を助成する制度は考えられないか。</p>	市長	